

**渋谷区放課後クラブ及び朝の見守り事業「プログラムコーディネート」にかかる
評価基準概要**

別紙5

◎書類審査

No	評価項目	評価の視点	配点
1	目的・基本方針	本業務の目的を理解し、有料プログラム及び朝プログラムを一体的に見据えた基本方針が示されているか。	5
2	放課後クラブの考え方の理解	「放課後児童対策パッケージ」を踏まえ、放課後クラブにおける過ごし方の考え方を適切に理解しているか。	5
3	有料プログラムの目指す姿・提供価値	有料プログラムについて、児童にとつての必要性、中長期的に目指す姿、意欲的な取り組み姿勢、提供価値が明確に示されているか。 あわせて、放課後の時間において児童の多様な興味・関心や能力を伸ばす内容となっているか、さらに家庭で個別に受講する習い事の一部を補完し得る学び・体験の機会として、具体的な提案がなされているか。	15
4	有料プログラムの実施計画	中長期的な目指す姿を踏まえ、令和9年度における実施計画（スケジュール、選定・実施方法、会計、内容、平準化支援、連携）が現実的かつ具体的に示されているか。 また、基礎自治体の事業として、一定の質を確保しつつ、市場価格より利用しやすい価格で提供する考えが示されているか。	20
5	有料プログラムのニーズ把握・改善	利用者ニーズの把握方法が具体的であり、その結果や成果指標を踏まえて、プログラム提供事業者へのフィードバックや改善につなげる仕組みが示されているか。	10
6	朝プログラムの位置付け・提供価値	朝プログラムについて、目的、朝の見守り事業における位置付け、提供価値が明確に示されているか。	10
7	朝プログラムの内容・実施計画・改善設計	令和9年度に実施可能な朝プログラムの内容及び実施計画（スケジュール、選定・実施方法、会計、内容、平準化支援、連携）が示されるとともに、成果把握、改善、会計処理の考え方が整理されているか。	5
8	児童の安全確保	有料プログラム提供事業者を選定するにあたり、業務品質、講師等の適格性、継続的な履行状況を適切に確認・管理できる体制を整え、児童の安全確保ができるか。	5
9	実施体制	本業務に関わるメンバーの構成及び役割が具体的であり、有料プログラム・朝プログラム双方に対応できる体制となっているか。児童及び保護者に関する個人情報その他機微な情報を適切に管理するとともに、関係法令、通知等を踏まえた業務遂行ができる体制を有しているか。学校運営と整合した安全管理が具体的に示されているか。	15

No	評価項目	評価の視点	配点
10	関係機関連携・保護者対応	今後施行が予定されている学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律(令和6年法律第69号。通称:子ども性暴力防止法)の制度の趣旨を十分に踏まえ、事故、苦情、相談その他の事案が生じた場合に、放課後クラブ運営事業者及び教育委員会と連携して適切に対応できるか。関係機関との連携体制及び保護者対応方針(クレーム・トラブル対応を含む。)が適切に示されているか。	5
11	労働条件	従事者の労働条件が適切に確保されているか。	5
12	価格	見積額は提案内容に照らして妥当であるか。	5
小計(企画提案書評価)			105

◎ヒアリング・プレゼンテーション審査

No	評価項目	評価の視点	評価配分
1	ヒアリング(取組姿勢)	積極性・誠実性があるか。	15
2	ヒアリング(履行確実性)	提案内容を実際に履行できる見込みがあるか。	15
3	ヒアリング(判断力)	質問の趣旨を理解し、的確に回答できるか。	15
4	ヒアリング(柔軟性)	区の要望や調整事項に柔軟に対応できるか。	15
小計(ヒアリング評価)			60
合計			165